

令和2年度アスパラガス 生産登録書・栽培管理日誌

日本一安心・安全でおいしい農産物の島「佐渡」
の実現を目指そう！

産地全体で取り組もう

- 「安全・安心」は、一人ひとりの日々の作業記録
- 「高品質でおいしいアスパラガスづくり」は、適期の管理
- 「環境にやさしいアスパラガスづくり」は、土作りと適正な施肥とJA佐渡防除暦に沿った病害虫防除の実践

●提出についての注意事項（この用紙は3回提出いただきますので、保管に注意ください。）

- 提出期日 1回目提出 生産登録 3月31日まで
2回目提出 収穫開始前
3回目提出 刈取終了後または、12月26日まで

※毎回期日まで必ず提出くださるようお願いします！！

提出・JA確認がなければ出荷できませんのでご注意ください。

○提出場所 最寄りの営農窓口まで提出をお願いいたします。

●その他

提出いただいた個人情報は、JA佐渡の生産指導及び、農業共済組合への情報提供のみに使用し、管理はJA佐渡が責任を持って行います。

管理日誌は2回目まで提出いただく毎にJAが確認押印後コピー（控）し原本は返却いたします。

JA 確認欄

提出回数	確認日	営農農機課名	確認者	検印	1.2回目は、 原本は 生産者へ 返却
1回目	R 年 月 日	()			
2回目	R 年 月 日	営農農機課			
3回目	R 年 月 日				



アスパラガス 栽培管理日誌兼生産登録書

私は、栽培・防除指針を遵守してアスパラガス 生産を行い、
その内容全てを下記に記帳し報告します。

また、農業使用については、定められた基準を遵守します。出荷品の安全については一切の責任を負います。

住所	佐渡市		
氏名	印	TEL	-

1. 生産登録（品種で栽培管理・防除暦が異なる場合は別途記入ください）

品種別に生産登録をしてください。

品種名	栽培面積	定植本数	圃場地番	播種年月	定植年月
例 グリーンタワー	10a	1440本	金井新保44-1	平成〇〇年4月	平成〇〇年5月
グリーンタワー	a	本		平成 年 月	平成 年 月
	a	本		平成 年 月	平成 年 月
	a	本		平成 年 月	平成 年 月
合計	a	本			

本年出荷計画（1回目の提出時に記入をお願いします。）

単位/kg																	
4月			5月			6月			7月			8月			9月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬

2. 本年度栽培内容

作業内容	作業実施月日	備考
バーナー焼却	年 月 日～ 年 月 日	
収穫開始予定日	年 月 日～	
立茎開始時期	年 月 日～	
収穫終了日	年 月 日	
刈取時期	年 月 日～ 年 月 日	

3. 施肥・土作り

※全面積の施肥、改良材、使用量を液肥、葉面散布剤は使用量と濃度を記入ください。

区分	肥料名	施肥量(倍率)	施肥月日	区分	肥料名	施肥量(倍率)	施肥月日
追肥	堆肥マルチング	()	/			()	/
		()	/			()	/
		()	/			()	/
		()	/			()	/
		()	/			()	/

4, 防除履歴

用途	薬剤名	使用方法 (希釈倍率)	散布量	使用時期	使用回数	散布月日						農薬の特徴および注意点
殺菌	ダコニール1000	1000倍	100~400L/10a	収穫前日まで	4回以内	/	/	/	/			●植物体内への浸透移行性はない。予防効果的で残効性がある。
殺菌	アフェットフロアブル	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	4回以内	/	/	/	/			●優れた予防効果を有する。
殺菌	ベンレート水和剤	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	4回以内	/	/	/	/			●浸透性を有する殺菌剤である。予防効果と治療効果を兼ねた薬剤である。
殺菌	アミスター20フロアブル	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	4回以内	/	/	/	/			●雨に強く浸透移行性による優れた予防効果がある。 ●浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると葉害を生じる場合がある。
殺菌	ロブラール水和剤	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	5回以内	/	/	/	/			●予防効果が強く、残効は長い。アルカリ性農薬との混用は避ける。
殺菌	コサイド3000	2000倍	100~300L/10a	-	-	/	/	/	/	/	/	●殺菌活性を持つ銅イオンの溶出度が優れているため、安定した防除効果を示す。
殺菌	ベルコート水和剤	1000倍	100~300L/10a	収穫7日前まで	5回以内	/	/	/	/	/		●優れた予防効果を有する。
殺菌	ファンタジスタ顆粒水和剤	3000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	/	/	/				●予防効果に加えて病斑進展阻止効果をする。 ●葉の内部への浸透性、茎部から上位葉への浸透移行性を有する。
殺菌	リゾレックス水和剤	500倍	100~300L/10a	収穫後~茎葉刈取期	3回以内	/	/	/				●優れた予防効果を有する。
殺虫	モスピラン顆粒水溶剤	4000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	/	/					●速効性と強い浸透移行性を併せもつ薬剤である。
殺虫	ディアナSC	2500倍	100~500L/10a	収穫前日まで	2回以内	/	/					●速やかな食害抑制効果を発揮するので、被害の拡大(進展)を抑制する。
殺虫	アフーム乳剤	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	/	/					●チョウ目害虫、アザミウマ類に卓効を示す。新規の作用性を持つマクロライド系の殺虫剤である。
殺虫	プレオフロアブル	1000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	/	/					●散布後の降雨の影響が少なく残効性に優れる。 ●チョウ目害虫に対しては速効的に作用
殺虫	アディオン乳剤	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	/	/	/				●速効性また優れた残効性を発揮する
殺虫	スラゴ粒剤	加害を受けた場所又は株元に配置	1~5g/m ²	発生時	-	/	/	/	/	/	/	●薬剤を摂食したナメクジ・カタツムリは速やかに作物への加害を停止し、死に至る。 ●雨、湿気に強い製剤で、湿った場所でも効果を発揮する。
殺虫	ハチハチフロアブル	1000倍	100~800L/10a	収穫前日まで	2回以内	/	/					■幅広い害虫種に対して効果を有する。
除草	ゴーゴーサン乳剤	使用量 200~400ml/10a	70~150L/10a	萌芽前(雑草発生前)	1回以内	/						●土壌中の移行性が小さく安定した処理層を形成するので作物への安全性が高い。 ●激しい降雨が予想される時には使用を避ける。
除草	ザクサ液剤	使用量 300~500ml/10a	100~150L/10a	収穫前日まで(雑草生育期 萌芽前又は畦間処理)	2回以内	/	/					●光条件、温度条件、降雨条件などに関わらず、さまざまな環境下において高い除草効果を発揮する。
除草	ラウンドアップマックスロード	使用量 300~500ml/10a	50~100L/10a	収穫前日まで(雑草生育期 畦間処理)	2回以内	/	/					■茎葉刈取後に使用し、アスバラガスにかからないよう十分注意する。
除草	ロロックス	使用量 150~200g/10a	100~150L/10a	萌芽始期但し収穫前日(雑草発生前~発生始期)	2回以内	/	/					■さまざまな環境下において高い除草効果を発揮する。